

令和8年度 地域災害対応力強化研修 実施要項

～ 地域で活動する法人・事業所や専門職の役割と責務について考える ～

1 目 的

時期、場所、内容を問わず突発的に発生する各種災害等に備え、平常時より地域・専門職・職能団体・行政等として予め何を備え、関係者がいかに各々の役割を認識し連携しておくべきかを整理する必要があります。

本研修では、災害時にも対応できる持続可能な地域づくりを目指すために、また災害発生時に迅速な対応ができるために、関係者・機関がとるべき行動や備え等について考える機会とします。

キーワード： 災害 SW、行政と福祉専門職等の連携、BCP、DWAT、地域防災計画、リスクマネジメント、連携と地域づくり、地域における公益的な取り組み 等

2 主 催 社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ

3 共 催 富山県社会福祉法人経営者協議会

4 後 援（予定）

富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県知的障害者福祉協会、(公社)富山県精神保健福祉協会、(一社)富山県介護支援専門員協会、富山県相談支援専門員協会、(一社)富山県社会福祉士会、(一社)富山県介護福祉士会、富山県精神保健福祉士協会、富山県医療ソーシャルワーカー協会

5 日 時 令和8年10月28日(水) 13時15分～16時45分

6 定 員 80名程度

7 会 場 パレブラン高志会館 2階 嘉月の間
富山市千歳町1-3-1 TEL:076-441-2255

8 参加対象

市町村社協、県・市町村行政(福祉・防災担当課)、DWAT登録者、社会福祉法人役職員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、相談支援事業所、各種関係機関 等

9 参 加 費 会場 4,000円、オンライン 2,000円

10 申込方法 下記申込みフォームへアクセスし、必要事項を入力のうえ申込みしてください。
申込フォーム <https://business.form-mailer.jp/fms/ffb4c1b0364056>
【申込締切:令和8年9月30日(水)】

11 参加決定 令和8年10月9日(金)までに、参加決定を通知いたします。



12 プログラム

時間	内容	講師等
12:45	受付	
13:15	開会・オリエンテーション	
13:20 (60 分)	【基調講演】 「災害時における福祉施設が果たすべき役割と備え」 ～社会福祉施設の BCP と災害支援・地域貢献～ ・ 法人としてのリスクマネジメント ・ 福祉施設としての責務と役割、福祉避難所としての機能 ・ 災害を経験した上で考える法人として必要な備えと平常時からの連携等	石川県白山市 (福) 福寿会 鶴来ふくまるハウス 管理者 吉村 雅弘 氏
14:20	休憩 (15分)	
14:35 (90 分)	【シンポジウム】 「地域における支援体制構築にむけて必要なこと」 シンポジスト ① (一社) 富山県社会福祉士会 事務局長 岡本 達也 氏 ※ 被災者支援、SW としての支援活動 ② (福) 氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏 ※ これまでの被災者支援活動の振り返り、 災害ボランティア・支えあいセンターの取組み ③ (一社) 石川県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 富美 氏 ※ いしかわソーシャルワーカー・ケアワーカー連絡会の 成り立ちについて ※ 能登半島地震発災後の取組みについて 助言者: (福) 福寿会 鶴来ふくまるハウス 管理者 吉村 雅弘 氏 コーディネーター: 富山県福祉カレッジ学長 大橋 謙策	各々の分野での 取組みを通して、 被災者の生活課題 の把握、必要な支 援へのつなぎ、地 域との連携につい て理解を深め、平 時からできる支援 や災害時の支援体 制について考える。
16:05	休憩(10 分)	
16:15 (30 分)	【総括講義】 「災害被災者支援と重層的支援体制整備事業並びに 社会福祉法人の地域貢献」	富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策
16:45	閉会	

13 その他

内容が変更・中止となる場合があります。その場合は、富山県福祉カレッジのホームページに掲載します。

富山県福祉カレッジホームページアドレス <https://www.toyama-shakyo.or.jp/tfcollege/>

14 問合せ先

社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ教務課（堀内）

〒930-0094 富山県富山市安住町 5-21 富山県総合福祉会館2階

TEL:076-432-6513 FAX:076-432-6516

E メール: college@wel.pref.toyama.jp